



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日 東

上場会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン 上場取引所  
 コード番号 3319 URL <http://www.golfdigest.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 信也  
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 酒井 敦史 (TEL) 03-5408-3188  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	12,951	12.5	641	294.8	626	298.6	366	449.4
26年12月期第3四半期	11,511	—	162	—	157	—	66	—

(注)包括利益 27年12月期第3四半期 363百万円 (436.5%) 26年12月期第3四半期 67百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	23.69	23.01
26年12月期第3四半期	4.50	4.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	8,473	4,820	56.9	271.47
26年12月期	6,936	2,110	30.3	141.15

(参考)自己資本 27年12月期第3四半期 4,817百万円 26年12月期 2,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	2.50	2.50
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	11.0	800	80.3	770	76.1	400	121.6	24.92

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	17,746,600株	26年12月期	16,547,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	43株	26年12月期	1,633,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	15,483,413株	26年12月期3Q	14,833,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融証券取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年9月30日)における経営環境は、企業収益、雇用等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、中国をはじめとしたアジア新興国の景気の下振れや世界同時株安等、世界経済環境にリスクが残るとともに、個人消費も物価上昇の懸念等により、一進一退の状況が続いております。

インターネットを取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末の普及が進むとともに、Eコマース市場やモバイル端末向け広告市場、その他関連サービス市場等は引き続き成長を続けております。また、ゴルフ市場における一般消費者の需要スタイルもモバイル端末の普及の影響を反映し、大きく変化し続けています。

このような環境下、当社では、当期の基本方針「原点回帰 ゴルフの裾野拡大、気軽にゴルフを楽しめる環境づくり」を実現すべく、当社の強みであるお客様データの分析力を活用し、お客様の需要に合った利便性と付加価値の高いサービス提供を目指してビッグデータと最新のテクノロジーを駆使したマーケティングを行ってまいりました。また、特に普及の進むスマートフォン向けサービスの拡充に注力し、ユーザーの利便性を高めるためのサービス強化等に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,951百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益641百万円(前年同期比294.8%増)、経常利益626百万円(前年同期比298.6%増)、四半期純利益366百万円(前年同期比449.4%増)となり、第2四半期に続いて、第3四半期としても過去最高の業績を記録しました。

主要セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 『リテールビジネス』

当第3四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高8,918百万円(前年同期比12.1%増)、売上総利益2,051百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

近年最重要課題としてきたスマートフォンの画面の見やすさ、サービスの使い勝手の向上等、お客様が真に望む購買体験をストレスなく実現するためのサービスの改善・強化が成果を発揮し、PCを経由した受注に加え、モバイル端末を経由した受注数が増加しました。また、取引データの分析によるお客様のニーズを的確に捉えた商材の確保と品揃えを実現することにより、引き続き高い収益性を維持することができました。この結果、売上高および売上総利益は第2四半期に続いて前年実績を大幅に上回りました。

#### 『ゴルフ場ビジネス』

当第3四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高3,422百万円(前年同期比17.3%増)、売上総利益2,753百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

ゴルフ場予約では、お客様のニーズを捉えた的確な販促施策等により、5月には月間の送客人数が過去最高を記録しました。更に、継続して取り組んでいるモバイル端末向けサービスの最適化が奏功し、8月、9月の集中豪雨、長雨といった悪天候にも関わらず、モバイル端末を経由したサイト訪問者数が増加し、ゴルフ場送客人数を前年から大きく伸ばすことができました。また、事前決済型予約サービスが引き続き好調に推移しました。

#### 『メディアビジネス』

当第3四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高560百万円(前年同期比3.8%減)、売上総利益436百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

特にゴルフ以外のクライアントからの広告受注は堅調に推移したものの、他の売上高が前年を下回り、メディアビジネス全体では減収減益となっておりますが、オリジナルコンテンツの強化及びモバイル端末対応強化に加え、国内女子プロゴルフ人気、全英オープンでの松山英樹選手の活躍や国内ツアーでの石川遼選手の活躍も後押しし、ニュースコンテンツへのアクセス回数を大きく伸ばすことができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末に比べ1,537百万円増加し、8,473百万円となりました。これは主に入金が進んだことによる売掛金の減少230百万円、償却の進捗によるソフトウェアの減少180百万円及び繰延税金資産を中心としたその他流動資産の減少185百万円を現金及び預金の増加2,094百万円が上回ったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ1,172百万円減少し、3,653百万円となりました。これは主に短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金の減少1,182百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ2,710百万円増加し、4,820百万円となりました。剰余金の配当37百万円による減少があったものの、四半期純利益366百万円の計上に加え、公募増資及び当社株式の売出し等により資本金571百万円増加、資本剰余金1,592百万円増加及び自己株式の減少222百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月23日に「平成27年12月期第2四半期累計連結業績見込み及び通期連結業績予想の修正のお知らせ」において公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成27年11月6日公表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	702,602	2,797,294
売掛金	1,910,609	1,679,863
商品	1,885,881	1,874,747
仕掛品	6,584	10,655
貯蔵品	16,974	16,713
その他	537,389	351,930
貸倒引当金	△2,439	△2,128
流動資産合計	5,057,602	6,729,076
固定資産		
有形固定資産	285,251	303,318
無形固定資産		
のれん	2,612	—
ソフトウェア	1,087,840	907,608
その他	178,561	144,227
無形固定資産合計	1,269,014	1,051,836
投資その他の資産		
その他	328,198	392,528
貸倒引当金	△4,055	△3,323
投資その他の資産合計	324,143	389,205
固定資産合計	1,878,410	1,744,359
資産合計	6,936,012	8,473,435
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,275,310	1,328,030
短期借入金	2,000,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	332,700	—
未払法人税等	90,357	93,350
賞与引当金	22,000	30,000
ポイント引当金	159,628	148,712
株主優待引当金	8,708	5,113
その他	882,057	822,464
流動負債合計	4,770,762	3,577,671
固定負債		
役員退職慰労引当金	40,750	50,497
資産除去債務	9,703	12,457
その他	4,739	12,598
固定負債合計	55,193	75,552
負債合計	4,825,955	3,653,223
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	833,491	1,404,770
資本剰余金	800,731	2,392,922
利益剰余金	691,318	1,020,806
自己株式	△222,935	△9
株主資本合計	2,102,605	4,818,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,397	△831
その他の包括利益累計額合計	2,397	△831
新株予約権	5,054	2,554
純資産合計	2,110,057	4,820,211
負債純資産合計	6,936,012	8,473,435

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,511,888	12,951,643
売上原価	6,822,384	7,689,480
売上総利益	4,689,504	5,262,163
販売費及び一般管理費	4,526,923	4,620,316
営業利益	162,580	641,846
営業外収益		
受取利息	133	171
受取配当金	6	1,094
不動産賃貸料	9,560	9,856
その他	4,285	3,753
営業外収益合計	13,985	14,876
営業外費用		
支払利息	11,170	6,247
株式公開費用	—	18,535
違約金	6,480	—
その他	1,829	5,788
営業外費用合計	19,479	30,571
経常利益	157,086	626,151
特別利益		
移転補償金	4,300	—
新株予約権戻入益	—	1,465
その他	229	—
特別利益合計	4,529	1,465
特別損失		
固定資産除却損	1,106	—
事業整理損	4,934	—
その他	1,064	—
特別損失合計	7,105	—
税金等調整前四半期純利益	154,510	627,616
法人税、住民税及び事業税	25,881	127,872
法人税等調整額	61,873	132,973
法人税等合計	87,754	260,845
少数株主損益調整前四半期純利益	66,755	366,770
四半期純利益	66,755	366,770

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,755	366,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	962	△3,229
繰延ヘッジ損益	41	—
その他の包括利益合計	1,003	△3,229
四半期包括利益	67,759	363,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,759	363,541



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年9月4日を払込期日とする新株式発行及び自己株式の処分による公募増資及び平成27年9月30日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連して行う第三者割当増資を実施しております。この結果、資本金が571百万円増加、資本剰余金が1,562百万円増加、自己株式が165百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,404百万円、資本剰余金が2,392百万円となっております。